

研究会報告要旨

西オーストラリア州パースにおけるブータン人社会：
デジタル空間の活用戦略に着目して

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科

博士課程 菊川 翔太

研究の背景

近年、ヒマラヤの国ブータンから、オーストラリアやカナダ、イギリスなど英語圏への出稼ぎ、留学、移住が急増している。2024年7月4日に発表されたブータンの年次レポート“The State of The Nation”では、ブータンの国民の約9%にあたる約64,000人が国外に移住していると報告され、この現象はブータンにおける重要な社会問題の一つとなっている（Royal Government of Bhutan, 2024）。その中でも特に西オーストラリア州パースへの移動が近年顕著である。2022-2023年度には、ブータンの人口の約2%にあたる15,552人のブータン人がオーストラリアへの学生ビザを取得したが、そのうち約4分の3の11,371人が、西オーストラリア州内の教育機関に留学または扶養家族として渡航した（Department of Home Affairs, 2024）。また、2024年10月、第5代ブータン国王がオーストラリアを訪問し、パースのHBFパークスタジアムで集会をした際には、2日間で計21,000人のブータン人が出席した（Kuensel, 2024）。ブータン国内人口が80万人弱であることを考えると、この人口流出は国内における重大な問題となっている。特に国家公務員や教師などホワイトカラー層の離職が相次ぎ、多くが私費留学生として家族を伴いオーストラリアに移住していることから、ブータンにおける頭脳流出が懸念されている。

研究の目的と調査方法

本発表の目的は、2022年以降、英語圏への留学・出稼ぎ・移住が増加する中で、西オーストラリア州パースにおいてブータン人コミュニティが形成され急拡大している背景と、その具体的な様態を明らかにすることである。加えて、近年、移民社会のデジタル空間への着目の重要性も高まっており、ブータン人の移動やコミュニティの形成にFacebookやTikTokといったデジタルな空間がどのように活用されているのかを検討する。

調査の方法は以下の3点である。1点目は文献調査であり、1960年代以降の両国関係や留学生移動に関する歴史的背景を検討するための資料収集と分析を行った。2点目は、現地調査であり、2024年2月に3週間にわたりパースに滞在し、ブータン人コミュニティや関連ビジネスに関する調査を実施した。3点目は、デジタル空間の分析であり、FacebookやTikTokなどのプラットフォームにおける情報発信やネットワーク形成の実態を分析した。

ブータンからオーストラリアへの留学生移動とその歴史的経緯

まず、ブータンからオーストラリアへの留学生移動の歴史的経緯を明らかにするため、1960年代以降の両国関係に関する文献調査を実施した。ブータンの新聞社Kuenselの英字新聞の1967年から2024年5月までの57年分の記事をすべて読み、ブータンとオーストラリアに関連する記事を収集した。両国関係の始まりは1962年にオーストラリアの支援でブータンがコロンボプランに参加したことに遡る。その後、1969年に5名のブータン人留学生が西オーストラリア州のHale Schoolに派遣され、政府や国費留学生を通じた国家レベルでの交流が進展していった。しかし、2010年代以降は国費留学生から私費留学生への転換が進み、両国関係は大学や留学エージェントを介した組織レベルで構築されるようになった。さらに2022年以降、「働く留学生」の増加が顕著であり、学費や生活費、母国への送金費を稼ぐ留学生とその配偶者が急増した。この過程で、親戚や友人を基盤とした個人的ネットワークが形成されている。

また、オーストラリアの国際関係においても、1950年代以降のアジアの共産化に対する脅威意識や、1990年代のアジア・太平洋地域への関心、インドをはじめとした南アジア地域の地政学的重要性などがブータンとのつながりを後押ししてきた。ブータンと西オーストラリア州パースの関係については、2000年にはすでに西オーストラ

リア州政府とブータン政府の間で相互訪問が行われていた。その後、資源ブームや経済成長、労働需要の増加、物価や生活費の安さといった要因を背景に、2010年代以降、私費留学生とその配偶者によるパースへの移動が進み、ブータン人コミュニティの形成がみられるようになった。さらに、2022年以降にはその拡大が一層顕著となっている。

パースでのブータン人コミュニティの形成とデジタル空間

次に、西オーストラリア州パースにおけるブータン人コミュニティの拡大について、現地調査とデジタル空間の分析を通じて検討した。2024年2月に3週間滞在し、ブータン人協会や料理店、イベントの訪問、およびパース在住のブータン人留学生10名への聞き取り調査を実施した。また、FacebookやTikTokといったデジタル空間の活用に関する調査を実施した。具体的には、パース・ブータン協会（6年間分）、ブータンからオーストラリアへの学生ビザに関するFacebookグループ（2年間）、パースの仏教団体（5年間分）、パースのブータンサッカー協会（4年間分）、留学エージェント会社2社、ブータン料理店2店の公式ページを分析した。調査の結果を以下の4点に整理した。

まず1点目に、パースにおけるブータン人コミュニティは2010年代以降急拡大している比較的新しいコミュニティである。2014年に設立されたパース・ブータン協会は、パースのブータン人コミュニティをまとめる「アンブレラ・ボディ」として機能している。また、2017年には最初のブータン料理店が設立され、現在では少なくとも10店が営業している。さらに、ブータン政府公認の留学エージェント会社は現在61社が登録されているが、最もFacebookのフォロワー数が多い会社が設立されたのも2022年である。

2点目に、パースのブータン人コミュニティは留学産業と強く結びついている。パース・ブータン協会の幹部やスポンサーには留学エージェント会社が多く含まれる。また、パースのブータン人サッカーリーグは2024年には34のブータン人チームが参加しているが、リーグやチームの運営資金は留学エージェント会社などのスポンサーから提供されている。

3点目に、パースのブータン人の団体や個人は、Facebook、TikTok、WhatsApp、Telegram、YouTubeなど様々な媒体のSNSを駆使して情報発信を行っている。2022年9月20日に開設されたブータン人のオーストラリアへの学生ビザ関連のFacebookグループは、2024年11月時点で3万人以上のメンバーを抱えている。このグループでは、運営者が留学生政策の変更点や学生ビザ申請の注意点を情報共有するほか、TikTok動画でより詳細な情報を発信するなど、デジタルプラットフォームが重要な役割を果たしている。

4点目に、ブータン人留学生への予備的な聞き取り調査から、ブータン人留学生の典型的なパターンとしては、大学院の修士課程に通いながら、空き時間や休日にアルバイトをし、友人や家族とシェアハウスで暮らしていることが分かった。留学と就労に関して、聞き取り対象者の多くが、長時間のアルバイトと学校での授業や課題を両立するのに大きな負担を感じていた。現在、オーストラリアでの留学生の増加や住宅不足から、アルバイト先やシェアハウスを得るのも容易ではなくなってきているが、求人情報や住居の情報は、知人の紹介やFacebookのグループの投稿から収集していた。オーストラリアの中でもパースを選んだ理由としては、東海岸沿いに比べ生活費や家賃の安さに加え、友人や親族がパースに滞在しているためという理由がほとんどであった。

結論

本発表では、パースにおけるブータン人コミュニティの拡大要因およびその様態を、1960年代以降のブータンの新聞紙の記述、2024年3月に実施した現地調査に加え、FacebookやTikTokなどデジタル空間の活用戦略にも着目して考察した。

その結果、まず文献調査を通して、ブータンからオーストラリアへの留学生移動が、1960年代後半から2020年代前半にかけて、留学生による移動という連続性を持ちながらも、それぞれの時代背景に合わせて変化していることが分かった。また、特に2010年代以降、西オーストラリア州の労働需要の高まり、ブータンの留学産業とパースの教育機関の連携、ブータン人のネットワークと連鎖移動などを背景に、パースのブータン人コミュニティが急拡大していることが分かった。加えて、デジタル空間の活用が情報発信やネットワーク構築の基盤となっている一

方で、商業主義的な影響や情報の偏りといったリスクも存在していた。本研究をより発展させていくことで、ブータンとオーストラリアのつながりをより深く理解し、今後の留学生政策や国際関係を考える上で重要な示唆を与えるものと考ええる。

Australia Department of Home Affairs. (2024). BP0015 Student visas granted at 2024-11-30. Retrieved January 6 2025, from <https://data.gov.au/data/dataset/student-visas/resource/338d7226-ea79-4dda-a8c7-8615a8a09e0f>

Kuensel. (2024, October 19). Over 27,000 Bhutanese attend Royal audience in Australia. Kuensel Online. Retrieved January 6 2025, from

<https://kuenselonline.com/over-27000-bhutanese-attend-royal-audience-in-australia/>

Royal Government of Bhutan. (2024). The State of The Nation: Report to the 1st session of the 4th parliament of Bhutan. Thimphu: Royal Government of Bhutan.